

# 【ふれあい土木展 2025 参加報告】

## 1. 概要

日 時：令和 7 年 11 月 14 日(金) 10 時～16 時

令和 7 年 11 月 15 日(土) 10 時～16 時（資機材撤去：16 時以降）

※資機材搬入・準備は 11 月 13 日（木）9 時以降

場 所：近畿地方整備局 近畿技術事務所（大阪府枚方市山田池北町 11-1）

内 容：液状化模型実験による現象観察

補強土工模型実験によるゲーム的体験(参加景品として駄菓子配布)

ミニボーリングマシンの展示および遠隔操作体験

協会誌(GEO)、冊子および三色ペン(協会ネーム入り)の配布

参加者：小宮理事長、大久保副理事長、岩瀬技術委員長、技術委員 9 名、

ハイテック株式会社 3 名、関西地盤環境研究センター 3 名(計 18 名)

## 2. ふれあい土木展 開催報告

ふれあい土木展は、国土交通省近畿地方整備局近畿事務所の主催により、土木技術に関わる関係者が連携・協働し、土木技術者や技能者との交流や体験の機会を提供するイベントです。本展の目的は、次代を担う世代や一般の方々に土木技術の魅力を伝え、理解を深めていただくことにあります。

## 3. 来場者と開催状況

対象は近隣住民（子ども含む）、小学校児童、学生、建設業界関係者、自治体職員、近畿地方整備局職員など幅広い層です。開催期間中は天候に恵まれ、来場者数は速報値で合計 2,634 名（金曜 644 名、土曜 1,990 名 ※マスコミ、小学生ツアー、枚方市長・随行者含む）となりました。

## 4. 展示内容

展示は以下の 9 分野にわたり、多様な取り組みが紹介されました。

- ①ICT 活用、②DX の取り組み、③防災、④道路、⑤河川、⑥施工、⑦素材・材料、⑧災害対策車両・乗り物、⑨TEC-machine カード配布

## 5. (一社)関西地質調査業協会の取り組み

当協会は「⑦素材・材料」に関する展示として、

『体験しよう！土のチカラ 見てみよう！液状化のひみつ さわってみよう！ミニボーリングマシン』をテーマに出展しました。

今年で 3 回目の参加ですが、今回は初めて野外展示を実施しました。

## 6. ブースの反響

感覚的には、1 日目に約 100 名、2 日目に約 200 名が来場しました。初展示のミニボーリングマシンは、子どもたちにとってゲーム感覚で非常に好評でした。一方、大人は液状化実験に強い関心を示し、液状化による埋設物の模型の浮上やミニカーの沈下に驚きの声が上がりました。子どもには補強土壁の倒壊シーンや景品（うまい棒）が人気

で、大人は補強材の効果に感嘆されていました。景品のうまい棒は2日間で250本がすべて配布され、途中から三色ペンを提供しました。

## 7. 今後の取り組み

次回に向けて、来場者アンケートを実施し、展示内容や運営方法の改善に反映していきたいと考えています。



1 日目の参加委員他



2 日目の参加委員他





液状化模型実験状況



補強土壁模型実験状況





ミニボーリングマシンの遠隔操作状況



ヘリコプター（きんき号）飛行状況